

- 問1 日本の租税のうち、所得税のように納税者と税金を実際に負担する人が一致する税の種類と、所得額が上がるにつれて適用される税率も高くなる仕組みの組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
1. 直接税と定率課税制度      2. 間接税と累進課税制度      3. 直接税と累進課税制度      4. 間接税と逆進性
- 
- 問2 ある労働者が失業した際、再就職までの生活を支えるための給付を「雇用保険」から受けることになりました。この雇用保険が分類される、日本の社会保障制度の項目として適切なものはどれですか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 医療や年金と同じ社会保険      2. 保健所などが担う公衆衛生      3. 児童や高齢者を支える社会福祉      4. 生活保護などの公的扶助
- 
- 問3 日本の社会保障制度は、社会保険、社会福祉、公的扶助、公衆衛生の4つの柱から成り立っています。このうち、感染症の予防、下水道の整備、廃棄物の処理、公害対策などを通じて、地域住民全体の健康を維持・増進させることを目的とした分野を何といいますか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
1. 社会福祉      2. 公衆衛生      3. 公的扶助      4. 社会保険
- 
- 問4 景気が過熱し、物価が上がりすぎるインフレーションの恐れがあるとき、政府が景気を安定させるために実施する財政政策の組み合わせとして、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 兵庫県公立入試 類似)
1. 減税を行い、公共事業などの歳出を削減する。      2. 増税を行い、公共事業などの歳出を削減する。      3. 増税を行い、公共事業などの歳出を拡大する。      4. 減税を行い、公共事業などの歳出を拡大する。
- 
- 問5 日本の租税制度において、消費税のように、税を実質的に負担する「担税者」と、税務署などへ実際に税金を納める「納税者」が異なる仕組みを何と呼ぶか、答えなさい。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
1. 源泉徴収      2. 累進課税      3. 直接税      4. 間接税
- 
- 問6 日本の所得税などに導入されている、所得が多くなるに従って適用される税率も段階的に高くなっていく課税方式を何といいますか。 (2015年 長野県公立入試 類似)
1. 固定資産課税制度      2. 逆進的課税制度      3. 一律課税制度      4. 累進課税制度
- 
- 問7 日本の所得税などに採用されている、個人の所得が高くなるにつれて適用される税率が段階的に高くなる仕組みを何といいますか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
1. 定額課税      2. 累進課税      3. 逆進性      4. 比例課税
- 
- 問8 税金は「直接税」と「間接税」に分けられますが、さらに納付先によって「国税」と「地方税」にも分類されます。次のうち、国税であり、かつ直接税であるものの組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
1. 所得税と消費税      2. 法人税と住民税      3. 所得税と法人税      4. 消費税と酒税
- 
- 問9 現代社会が抱える少子高齢化の課題について、フランスやベルギー、ポルトガルなどのヨーロッパ州の諸国に見られる統計上の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。なお、これらの国々では65歳以上の人口割合が約17～19%に達しています。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 高齢者人口割合は高いが、公的扶助よりも自助努力を重視する政策がとられているため、社会保障支出の国内総生産（GDP）に対する割合は10%未満に留まっている。      2. 韓国やメキシコと同様に、若年層の人口が非常に多いため、社会保障支出の国内総生産（GDP）に対する割合は世界的に見て極めて低い水準にある。      3. 出生率が大幅に回復したことで高齢者人口割合の増加が抑えられ、社会保障支出の国内総生産（GDP）に対する割合は減少傾向にある。      4. 高齢者人口割合が高いため、年金や医療などの社会保障支出の国内総生産（GDP）に対する割合が20%を超える高い水準となっている。
- 
- 問10 日本の国家予算（一般会計歳出）において、社会保障関係費の総額が増大し続けている主な背景と、その内訳に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
1. 社会保障制度の改革によって効率化が進んだため、年金・医療・介護のいずれの項目においても支出額そのものが減少している。      2. 若年層の人口が増加したことにより、子育て支援を中心とした社会保障関係費の割合が、医療や介護の割合を大きく上回るようになった。      3. 公債金（借金）の返済が順調に進んだことで予算に余裕が生まれ、社会保障関係費のなかでも特に年金の占める割合が急増している。      4. 少子高齢化の進展により、年金や医療、介護などの給付を必要とする人が増えたため、社会保障関係費の総額は増加傾向にある。
- 
- 問11 日本の社会保障制度のうち、国民が「保険料」を出し合い、病気やけが、失業、高齢などの生活上のリスクが生じた際に給付を受ける仕組みを何といいますか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
1. 公的扶助      2. 社会福祉      3. 社会保険      4. 公衆衛生
- 
- 問12 日本の国家予算において、高齢化に伴う社会保障費の増大などにより不足する歳入を補うために発行される、事実上の「国の借金」にあたる債券を何といいますか。 (2023年 和歌山県公立入試 類似)
1. 国債      2. 社債      3. 地方債      4. 外債
- 
- 問13 日本の社会保障制度は大きく四つの柱で構成されています。このうち、伝染病の予防や予防接種の実施、公害対策、環境衛生の整備など、国民が健康に生活できる環境を整え、その維持・増進を図る活動を何と呼びますか。最も適切な名称を選択してください。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 公衆衛生      2. 社会福祉      3. 社会保険      4. 公的扶助
- 
- 問14 景気変動を安定させる財政の役割について、その仕組みと目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。なお、ここでは景気が良すぎる「好況」の状態を想定して答えてください。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
1. 経済活動への干渉を一切やめることで、市場原理による自然な景気の回復を待つ目的がある      2. 増税と公共事業の拡大を同時に行い、政府の収入と支出のバランスを常に一定に保つ目的がある      3. 増税や公共事業の抑制を行うことで、企業や家計の経済活動を抑え、景気の過熱を防ぐ目的がある      4. 減税や公共事業の拡大を行うことで、消費や投資を刺激し、不況からの脱却を助ける目的がある